



二川宿まち並み通信

第39号 令和8年6月1日
発行：「二川宿」まちづくり会
大岩町東まちづくり会
大岩中まちづくり会
協力：豊橋市都市計画課

◆ 前芝湊と二川宿の住民団体で交流会を開催

～ 江戸時代に栄えた歴史あるまち同士で、意見交換が盛り上がる！ ～



豊橋市の東にある二川宿と西にある前芝湊が、まちづくりでつながるといいですね！

● 交流会の様子：二川宿で飾りつけしている風鈴や前芝の取り組み写真などを回し見しながら和やかに意見交換

3月18日(水)の夜、二川生涯学習センターにて、前芝湊のまちづくり団体と二川宿のまちづくり団体、市が集まり、交流会を開催しました。

前芝は、みなと塾と前芝伝統文化保存会から計7名が参加、二川は、二川宿まちづくり会、大岩町東まちづくり会、大岩中まちづくり会、NPO法人二川宿から計8名が参加しました。

前芝では、「灯ろうで飾ろう二川宿」を参考に「前芝川灯ろうまつり」を開催しており、これがきっかけで交流する運びとなりました。

二川からは、花や風鈴などの街道沿いへの飾りつけ、お店や家の景観整備、商家駒屋のイベントなどでまちが活性化したことを報告。また、各団体の継続的な活動には課題があるものの、灯ろうまつりでは楽しさがあると協力者が増え積極的な活動につながったことも伝えました。

前芝からは、機関紙の発行や海岸での環境学習、燈明台の点灯、神明社の祭礼にあわせたイベントの開催などを報告。また、「船橋渡御(多数の船に板を渡して橋をつくり、氏子たちがお

神輿をかついで対岸にわたるお祭り)」を復活させたいとの熱い思いも語られました。

ほかにも、祭礼ののぼり旗を立てる手順にも地域で違いがあることが話題になるなど、楽しく実りある交流となりました。



◀ 前芝神明社の例大祭で町内を巡幸する山車：例大祭は毎年10月の第2日曜日に開催

◆ 前芝湊とは

江戸時代に、日本各地へ物資を運ぶ廻船やお伊勢参りの船が発着した場で、今でも湊や漁村の面影が残るまち並みが残っています。

● みなと塾 (代表:加藤正敏さん)

海や川により沿って歩んできた前芝の歴史を振り返るとともに、地域の活性化を図ることを目的に発足。学習会や海岸清掃など行っている。

● 前芝伝統文化保存会

(会長:林徹生さん)

前芝の伝統文化を次世代へと伝え、未来へと継承していくことを目的に発足。地域文化の調査・保存、文化発展の取り組みを行っている。



▲ 前芝燈明台の点灯式の様子 (令和7年3月)：景観重要建造物の指定を記念して118年ぶりに点灯。(前芝校区自治会、みなと塾、前芝伝統文化保存会、豊橋市の共催)



▲ 前芝神明社の祭礼にあわせたイベントの様子：テレビ番組のサスケで有名な「そり立つ壁」を製作。子供たちが楽しみに集まりチャレンジした！(主催:前芝伝統文化保存会)

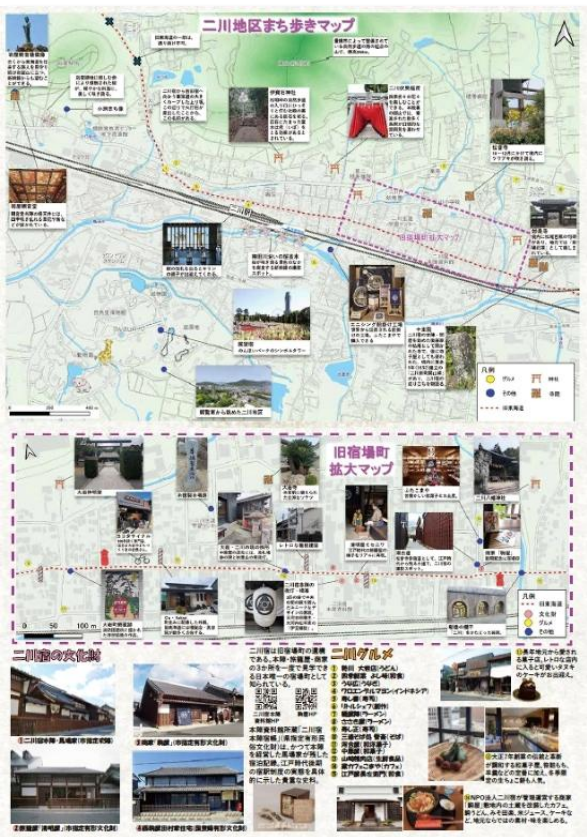
◆ 大学生による「二川地区まち歩きマップ」完成！

昨年より制作が進められていた、愛知大学地域政策学部佐藤ゼミによる、「二川地区まち歩きマップ」がついに完成しました！

制作の過程では、住民参加のワークショップが開催され、住民から学生に沢山の情報が提供されました。

完成したマップは、二川宿のまちづくりの情報や、歴史・文化、買い物・グルメ、景観・建物の魅力情報がぎゅっと詰まったものになっています。

マップは、二川宿本陣や商家「駒屋」、ご協力いただいたお店などで入手できます。



佐藤准教授

二川の皆さまのご協力で完成しました。大変感謝しております。二川の魅力発信のお役に立てることを願っています。



◆ 梅田川の桜並木が今年も美しく咲き誇る！

二川宿の南側を流れる梅田川には、桜並木が続いています。今年も美しい花が咲き誇り、春の訪れをこちよく告げてくれました。

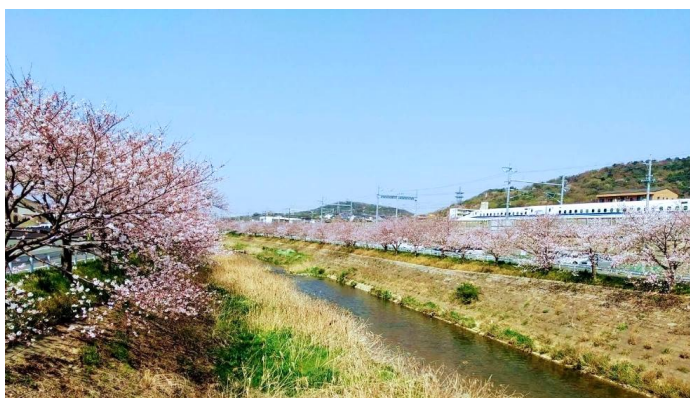
「ソメイヨシノ」の寿命は60年ほどといわれており、梅田川の桜並木はその年月を経過しているようです。しかし、丁寧に手入れをすることで、100年以上も美しい花を咲かせることができるそうです。

この桜並木の樹勢回復に取り組んでいるのが、「二川さくら守の会（代表：梅岡愛子さん）」です。

会の活動は10年を過ぎ、昨年の12月には、二川駅の南口ロータリーにて、多くの人が集まるなかで10周年の記念植樹会が行われました。二川宿のまち並みとともに、美しい桜並木の景観を将来にわたって保っていきたいですね。



梅岡代表



みんなで協力し合い美しい景観を次の世代につなげていきましょう。

記念植樹の様子 ▶
みんなの手で桜の苗木2本が植樹されました。

